

タブレット端末で撮影した動画に

即興的にナレーションを付ける学習

第1学年

Unit8 A Surprise Party

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 動画を用いることで、既習の知識や技能を生かして即興的に話そうとする意欲が生まれました。
- ペア交流や全体での中間交流を経て、話す内容を再構築して話すことができました。

タブレット端末で撮影した動画活用による効果

導入場面で、教師が動画を見せ、その動画に即興的にナレーションを付ける活動を行うことで本時の活動の見通しをもたせる。

- ・まずは動画を一度見て、どんなことを伝えればよいのか見通しをもつ。
- ・即興的に動画の様子を説明するナレーションを行う。



教師の指導のポイント

- 映像の中の動作を説明するためには、現在進行形を使用すればよいことを確認する。
- 動画の様子を説明する活動を一度やらせてみて、うまく伝えられなかったことを生徒から引き出し、学級全体で共有し、もう一度、活動に取り組ませる。



ALT に学校生活の様子を紹介するために撮影した動画に即興的にナレーションを付ける活動に取り組ませる。

ただ単に動作の説明だけでなく、その活動を行う理由や活動を行っている時の自分の思いを伝えることができるようにする。

- ・自分が用意した学校生活の動画を即興的に説明する活動に取り組む。
- ・「言いたいけど、言えなかった。」「うまく伝えられなかった。」ことを中間交流で出し合う。
- ・前半のペアとの交流や中間交流をもとに話す内容を再構築する。
- ・再構築したことを別の相手に伝える。
- ・最後に、最初に交流したペアともう一度交流して、本時表現できるようになったことや話す内容の深まりを実感する。また、タブレット端末で発表の様子を録画し、自分自身で振り返りができるようにする。



教師の指導のポイント

- 動画にナレーションを付ける目的を確認し、ALT が安心して生活を送れるようにするためには、ただ単に映像の中の動作の説明をするだけでなく、その活動を行う理由や活動を行っている時の思いを伝えることが必要であることを指導する。
- 中間指導を行った後に、後半の言語活動に向けて再構築する（ナレーションを考える）時間を確保する。